

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術と学習支援		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	早川 直美	実務経験とその関連資格	総合病院、開業医で助産師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
看護の基盤となる人間関係に大きく影響を及ぼすコミュニケーションの意義と方法について理解する。 看護の実践能力の一部である人々の個人に関わる学習を支援する看護技術について基礎的な知識と実際について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
授業や演習への参加状況と課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術I 医学書院 看護がみえる 基礎看護技術 ① メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
事前に教科書を読んでおく。常に自分の考えを持つ習慣を付けましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
コミュニケーションは看護援助の基本一言語的・非言語的な表現の大切さを理解し、実践的な表現能力を身につけてほしい。 看護における学習支援の目的と意義を理解することができる。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護技術とは何かをイメージできる。 医療におけるコミュニケーションの目的や特徴が説明できる。		教科書	「コミュニケーションとは何か」を考えてくる。
		各コマにおける授業予定	看護技術とは コミュニケーションの意義と目的、構成要素			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的な関係構築のためのコミュニケーションについて説明できる。		教科書	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	関係構築のためのコミュニケーションの基本			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション障害がある人の特徴とコミュニケーションについて説明できる。		教科書	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション障害がある人の特徴 コミュニケーション障害がある人への対応について			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	効果的なコミュニケーションの中の傾聴についての説明ができる		教科書 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	傾聴の技術			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的な情報集についての留意点が説明できる		教科書 看護技術がみえる	授業で学んだ内容を復習する。教科書・看護技術がみえるを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	情報収集の技術			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを用いて自己のコミュニケーションの課題を明らかにする。	教科書	授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードを用いて自己の関わりを振り返る		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを用いて自己のコミュニケーションの課題を明らかにする。	教科書	講義終了時に示す課題を提出すること 授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードを用いて自己の関わりを振り返る		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護における学習支援とは何か 看護における学習支援の目的と意義を説明できる	教科書	授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	学習支援の目的・意義 看護支援の対象者とそのニーズ 看護の役割		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習支援の基礎知識について説明できる	教科書	授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	学習の基礎知識 学習支援の基礎知識		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習支援の方法について説明できる	教科書	授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	学習支援の技術		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者個人を対象とした学習支援について説明できる	教科書	グループで意見交換ができるように準備する
		各コマにおける授業予定	患者個人を対象とした学習支援(Gワーク)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者個人を対象とした学習支援について説明できる	教科書	グループで意見交換ができるように準備する
		各コマにおける授業予定	患者個人を対象とした学習支援(Gワーク)・発表練習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者に対して学習支援を行い、その支援の評価を行う	教科書	発表における自己の役割を確認しておく 授業終了後、課題を提出する
		各コマにおける授業予定	患者患者を対象とした学習支援(発表)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者の家族を対象とした学習支援について説明できる	教科書	授業終了後、課題を提出する
		各コマにおける授業予定	患者の家族を対象とした学習支援(Gワーク)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	「コミュニケーション技術と学習支援」の授業の学びと気づきを自己の言葉で述べることができる	教科書	授業終了後、課題を提出する
		各コマにおける授業予定	まとめ		